

Back Loaded Horn Type Speaker System バックロード・ホーン・スピーカーシステム 組み立てキット WP-7608BH-D2PS

組み立て説明書

Ver.1



KYORITSU
共立電子産業株式会社

●必要な工具

- ・プラスドライバー
- ・ハンダごて(20~40W)
- ・ニッパー
- ・ピンバイス又は電動ドリル
- ・L定規 又は三角定規
- ・マイナスドライバー
- ・ハンダごて台
- ・ワイヤーストリッパー
- ・ドリルビット 2Φ 5Φ
- ・サンドペーパー



ピンバイスとドリルビット

●主な仕様

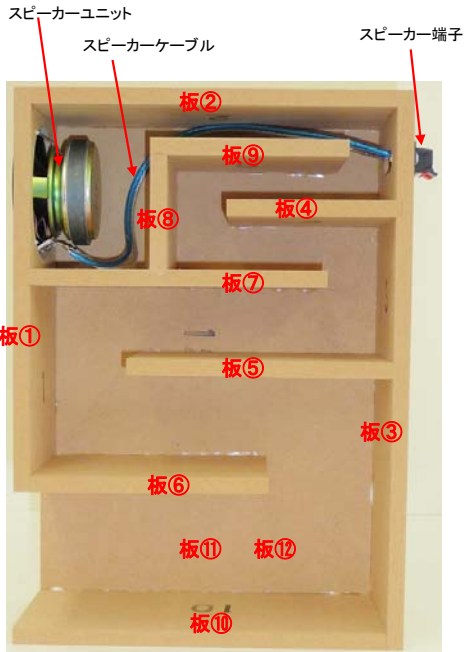
- ・スピーカーユニット口径 8cm
- ・外形寸法 幅110mm 高さ300mm 奥行き210mm
- ・重量 1,7Kg

・本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良・性能向上のため予告なく仕様・外観等を変更する場合がありますをあらかじめご了承ください。
 ・本機はキット商品です。完成時の性能・品質・安全等に関するリスクは組み立てた方ご自身に負っていただくことをご了承ください。
 ・当社はお客様の特定の目的に叶うことや他の機器に対して侵害なきことを一切保障することはできません。またいかなる状況下、法律上、契約上のもとにおいて、間接的、付随的、あるいは結果的に生じたいかなる種類の損害に対しても一切の責任を負うことはできませんのでご了承ください。

販売元：共立電子産業株式会社 共立プロダクツ事業所

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1
TEL(06)6644-4447 FAX(06)6644-4448

●内部構造写真



●このキットに含まれるパーツ

①板材・・・24枚
板材には番号が印刷されています
1番～12番まで各2枚づつ、合計24枚



②スピーカーユニット・・・2個



③スピーカーケーブル・・・2本



④スピーカー端子・・・2個



⑤ネジ・・・12本



⑥ボンド・・・1個

●組み立て手順



1) 板①のスピーカー取付け穴のカドをサンドペーパーで軽く削ります

0.3mm～0.5mmくらい「面取り」します
(スピーカーユニットとのなじみを良くするため)

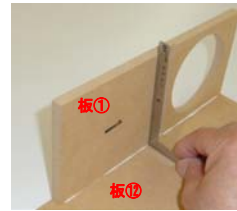


*ここから組み立てに入りますが「構造写真」の板番号と照合しながら作業をすすめてゆきます



2) 板⑫に板①を接着します

・板①の接着面にボンドを塗ります

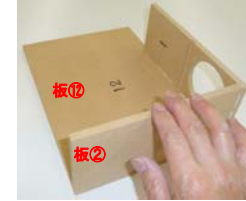


・板⑫に手で押さえつけて圧着します

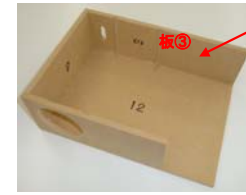
・正しく直角になるよう「L定規」もしくは「三角定規」で調整します
・2～3分「手」で押さえればボンドが固まって板が動かなくなります



・板①との間にスキマができないよう「手」で押さえます



・同時に板⑫に押さえつけてボンドが固まるのを待ちます



4) 板③を接着します

・板①のときと同様に、他の板を接着するところにハミ出たボンドをマイナスドライバーなどで取り除いておきます



・他の板を接着するところにハミ出たボンドはマイナスドライバーなどで取り除いておきます



5) 板④を接着します

・板⑫び板③との接合面にボンドを塗ります



・板③のミゾに合わせて接着します



3) 板②を接着します

・板⑫および板①との接着面にボンドを塗ります



6) 板⑤を接着します



7) 板⑥を接着します



8) 板⑦を接着します



9) 板⑧を接着します

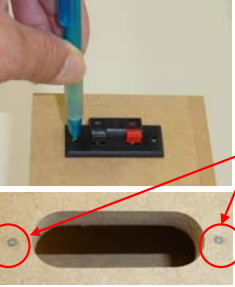


10) 板⑨を接着します



11) 板⑩を接着します

これで「片側」すべての接着が完了しました
ボンドが透明になるまで約半日乾燥させます



12) スピーカー端子取り付け用「下穴」をあけます

・スピーカー端子取り付け穴の上にスピーカー端子を乗せて、鉛筆などで穴位置をマーキングします

・左右どちらかに偏らないよう注意します



・2Φのドリルで貫通穴をあけます
写真ではピンバイスを使用していますが電動ドリルやハンドドリルでもOKです



・5Φのドリルで「皿モミ」をします
この作業はドリルを「手」で持って軽く回します



*木ネジを締めるとき周辺の木部が浮き上がり、スピーカー端子との間にスキマができて「空気モレ」が発生するのを防ぐためです



13) スピーカー取り付けネジ用の下穴をあけます

・スピーカー取り付け穴にスピーカーユニットを乗せて位置を合わせ、鉛筆などで穴位置をマーキングします



・2Φのドリルで貫通穴をあけます
写真ではピンバイスを使用していますが電動ドリルやハンドドリルでもOKです



・5Φのドリルで「皿モミ」をします
この作業はドリルを「手」で持って軽く回します
前述のスピーカー端子のときと同じ要領です



*エンクロージャー内部に残った「木くず」などを掃除機でキレイに除去しておきます



14) 最後に残った板⑩を接着します

・板⑩と接触するすべての木部にボンドをタッパリ塗ります

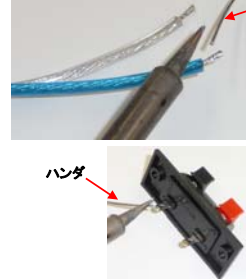


・板⑪を静かに乗せて位置を合わせます
手で押さえてボンドをなじませたら「本」などを重しにして圧力をかけて乾燥させます



15) スピーカー端子にスピーカーケーブルをハンダづけします

・スピーカーケーブルの両端を約5cm開いて、先端の被覆を約5mm剥がします



ハンダ
・被覆を剥がしたところにハンダメッキをしておきます

・スピーカー端子のラグ部分にもハンダメッキをしておきます



・スピーカー端子にスピーカーケーブルをハンダづけします
「赤」色の端子には「透明」のケーブルを、「黒」色の端子には「水色」のケーブルを接続します



16) スピーカー端子を取り付けます

・板②と板⑨の間にスピーカーケーブルを通します



*イメージ写真
実際は板⑪が接着されているのでは見えません

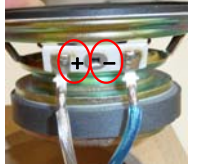


・スピーカー端子をネジ止めします



17) スピーカーユニットを取り付けます

・端子にハンダメッキしてからスピーカーケーブルをハンダづけします
・端子には極性表示があります
(+)には「透明」のケーブルを(-)には「水色」のケーブルをハンダづけします



・スピーカーユニットをネジ止めします
対角線の順に少しずつ締め付けてゆきます



●これで完成です
おつかれさまでした

*お好みの塗装を施せば世界でひとつ、あなだけのオリジナル・スピーカーシステムができます
*塗装作業は「スピーカーユニット」および「スピーカー端子」を取付ける前に行ってください
本機の素材である「MDF」はその性質上「オイル仕上げ」や「ワックス仕上げ」には適しません
水性もしくは油性塗料による塗装仕上げをおすすめします

●ワンポイントアドバイス
・最初は低音がダブついたり、高音がキツク聞こえることがありますが、エージング(慣らし運転)が進むと音が落ち着いてきます
・バックロードホーン型はその構造上、独特な音質になるのが普通です
音楽を選びますので、それをご承知の上で特徴を生かしてご使用ください